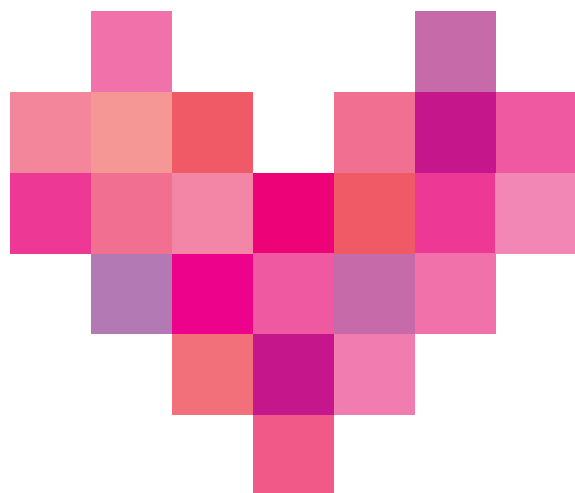




MY PINK ACTION

知ろう、自分と乳がんのこと。



PostPet™

PINK RIBBON SYMPOSIUM 2023

ピンクリボンシンポジウム

最新の乳がん医療トピックス

シンポジウム ご視聴の皆様へ



どんなときも、あなたは決して
ひとりじゃない。
乳がん専門医やあなたと同じ
乳がん向き合っている
ゲストのお話を Web で展開します。

動画配信

2023 年10月1日(日)スタート

視聴方法



ピンクリボンフェスティバル公式サイト内「シンポジウム」ページにて
<https://www.pinkribbonfestival.jp/symposium/>

協賛

日本イーライリリー(株)、富国生命保険(相)、ホクト(株)

協力

麒麟ビバレッジ(株)、クロスプラス(株)、
ジュピターショップチャンネル(株)、スコラゲン(株)、
住友生命保険(相)、セコム損害保険(株)、大樹生命保険(株)、
(株)トライ・インターナショナル、日本生命保険(相)、
ユニ・チャーム(株)

主催

ピンクリボンフェスティバル運営委員会(日本対がん協会、朝日新聞社など)

後援

厚生労働省、東京都、兵庫県、日本医師会、日本看護協会、日本乳癌学会、日本乳癌検診学会、
日本癌治療学会、日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会、渋谷区、葛飾区

広報協力

ソニーネットワークコミュニケーションズ

｜ プログラム一覧 ｜

動画 1

○ 講演 ○

乳がんの 診断と治療 2023 — 最近の話題より —



講師 | 中村 清吾 先生

昭和大学臨床ゲノム研究所所長
昭和大学病院プレストセンター長（乳腺外科特任教授）

▶ 詳細は p3 へ



動画 2

○ 講演 ○

デジタルテクノロジーが もたらす新たな 乳がん診療の幕開け



講師 | 黒住 献 先生

国際医療福祉大学医学部乳腺外科学 准教授
群馬大学医学部総合外科学 非常勤講師
医学博士

▶ 詳細は p4 へ

動画 3

○ 講演 ○

乳がんとの 向き合い方 情報収集のヒントと 仕事との両立支援



講師 | 垂野 香苗 先生

昭和大学医学部外科学講座乳腺外科学部門 講師・診療科長補佐
昭和大学保健医療学部大学院遺伝カウンセリングコース 兼任講師

▶ 詳細は p5 へ



動画 4

● ゲストトーク ●

乳がんが 教えて くれたこと



ゲスト | 小巻 亜矢 さん

株式会社サンリオエンターテインメント 代表取締役社長、
サンリオピューロランド館長

▶ 詳細は p6 へ

乳がんの診断と治療 2023 —最近の話題より—



中村 清吾 先生

昭和大学臨床ゲノム研究所所長／昭和大学病院プレストセンター長（乳腺外科特任教授）

略歴

1982 年	千葉大学医学部卒
1982 年	聖路加国際病院外科にて研修
1997 年	M.D. アンダーソン癌センターほかにて研修
2003 年	聖路加国際病院外科医長
2005 年	同プレストセンター長
2010 年	昭和大学医学部乳腺外科教授、同病院プレストセンター長
2021 年	同がんゲノム医療センター長兼務
2022 年	4 月より現職。 日本外科学会名誉会員、日本乳癌学会名誉会員、日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会顧問、一般社団法人日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構（JOHBOC）理事長、日本乳腺甲状腺超音波医学会（JABTS）名誉理事長

主な著書

“Hereditary Breast and Ovarian Cancer”（共同編集）（2021 年）、『遺伝性乳がん・卵巣がんの基礎と臨床』篠原出版新社（2012 年）、『「乳がん」と言われたら…』保健同人社（2012 年）、『乳がん 正しい治療がわかる本』法研（2008 年）、『専門医が答える Q&A 乳がん』主婦の友社（2006 年）、『乳癌 MRI 診断アトラス』（編集・執筆）医学書院（2004 年）、『悪性と間違えやすい乳腺の良性病変（共著・共執）』篠原出版新社（2004 年）他



- ① 超音波検診の課題克服に向けた取り組み
- ② がんゲノム検査と遺伝性腫瘍について
- ③ 注目の新しい抗がん剤について

今から 40 年前、私が外科医としての修練を始めたころは、がんをメスの力で治すことがヒーローとして取りざたされていました。私も、一見、手術で切除することが困難に思えた腫瘍を、時間をかけて丁寧に切除することに強い共感を覚えしました。しかし、外科医として様々な手術手技を習得した後、如何に癌を包むように切除できたとしても、一定数の再発が起こることを経験し、術後の薬物療法を上手に使い再発を防ぐことの大切さを実感したのです。やがて、親から子に伝わる遺伝子が、乳癌のみならず多彩な癌の発症に大きく関わることに興味を覚えました。

そこで、臨床家として、がんにならないためにはどうすればよいか＝未病（未然に防ぐこと）に対して、現在は心血を注いでいます。

基礎の先生方の取り組みも、遺伝子情報を網羅的に調べる全ゲノム解析や一個のがん細胞から遺伝学的特徴を抽出するシングルセル解析と、一段と歩みを速めているところです。一方で、日進月歩の基礎研究と臨床の間にある深い谷に、橋をか

ける努力も必須です。

具体的には、ハイリスク者の特定と、そのリスクに応じた予防対策の提供です。これまで、生活習慣病にスポットを当て、全ての人に一律の健診プログラムを実施してきたことの見直しが必要でしょう。まずは、リスクの特定に関して、様々な遺伝子検査の中から有望なものを選別し、生活習慣への介入が、リスクの高いと想定される人に、どの程度有効かということ把握することが肝要です。また、新たな手術法や新規薬物療法という医療介入が、長期的な国レベルの医療財源に及ぼす影響も検討することも必要です。一方で、患者個々の満足度にどう影響を及ぼすかということにも注視することも忘れてはなりません。

最後に、一個人一生涯一医療情報という北欧を中心に定着している健康医療情報に対する基本概念から見て、我が国の電子カルテシステムが抱えている課題を明らかにし、明日の乳癌診療を支える医療情報システムのあるべき姿にも言及したいと思います。

デジタルテクノロジーがもたらす 新たな乳がん診療の幕開け



黒住 献 先生

国際医療福祉大学医学部
乳腺外科学 准教授／群馬
大学医学部総合外科学
非常勤講師／医学博士

略歴

2001年3月	私立巣鴨高等学校卒業
2007年3月	群馬大学医学部医学科卒業
2007年4月～ 2009年3月	前橋赤十字病院初期研修医
2009年4月～ 2011年9月	群馬大学医学部附属病院 外科シニアレジデント
2011年10月～ 2016年3月	埼玉県立がんセンター 乳腺外科 医員
2016年4月～ 2017年3月	群馬大学医学部附属病院外科診療センター乳腺・内 分泌外科 医員
2017年4月～ 2020年3月	群馬大学医学部附属病院 外科診療センター乳腺・ 内分泌外科 助教（病院）
2017年10月～ 2019年7月	英国ノッティンガム大学医学部 病理学講座 留学
2020年4月 ～2023年3月	国際医療福祉大学医学部 乳腺外科学 講師
2020年5月～現在	群馬大学大学院医学系研究科 非常勤講師
2023年4月～現在	国際医療福祉大学医学部 乳腺外科学 准教授

主な著書

「腫瘍内科 7 乳癌における
HER2 評価の新展開」科学評
論社（2022 年）、「乳癌疾患
state of arts 第 6 章 乳癌特性
の分析・評価 3 2 乳癌術前
治療における biomarker（ER,
PgR, HER2, Ki67, TILs）の
変化」医歯薬出版株式会社（
2022 年）、「特集：乳癌一診断・
治療の最新知見 II. 乳癌の診
断 乳癌の病理診断における新
たな展開」日本臨牀, vol. 76,
No.5, (2018 年)、「DCIS の
グレード分類と低リスク DCIS
に対する非手術臨床試験」医
学のあゆみ, Vol. 261, No.5,
(2017 年)

講演の
ポイント

PostPet™

- ① 医療現場に導入されようとしている
デジタルツールの実状
- ② 乳がん診療のための新たなデジタル技術を
生み出すための取り組みについて
- ③ 「定期的な乳がん検診」と
「適切な乳がん治療」をより受けやすくする
ためのデジタルシステムの開発を目指して

昨今、人工知能などのデジタルテクノロジーの急速な発展に伴い、医療現場にも多くのデジタルツールが導入されようとしています。中でも深層学習を用いた画像診断および病理診断技術の向上は著しいものがあります。乳がんの診療においても様々な場面で、デジタルツールを活用したい場面があります。乳がん診療において、「定期的な乳がん検診を受けていただくこと」、「適切な乳がん治療を受けていただくこと」は、とても重要なことです。また、少しでも多くの人々が安心した人生を送れるように、医療従事者、医学者の方々

は、診療、研究、教育に懸命に従事しております。日々多様化していく乳がん診療の中で、どのようなツールが乳がん診療の現場にいる医療従事者、そして患者さまのために本当に有用なのか、みなさまが適切な乳がんの検診および医療の情報により簡便にアクセスしていただけるためにデジタルツールがどのように生かせるか、我々は日本乳癌人工知能研究会という研究会を立ち上げ、こういったことを日々話し合っています。今回は、この我々の取り組みの内容をご紹介させていただければ幸いです。

○ 講演 ○

乳がんとの向き合い方 情報収集のヒントと
仕事との両立支援

垂野 香苗 先生

昭和大学医学部外科学講座 乳腺外科学部門
講師・診療科長補佐／昭和大学保健医療学部
大学院 遺伝カウンセリングコース 兼任講師

略歴

2003年3月	琉球大学医学部医学科卒業
2003年4月	沖縄県立中部病院 研修医、外科後期研修医
2008年4月	沖縄県立八重山病院 外科医員
2010年4月	国立がん研究センター中央病院 外科レジデント
2013年4月	国立がん研究センター中央病院乳腺外科がん専門修練医
2015年4月	昭和大学医学部外科学講座乳腺外科部門 助教
2021年4月	診療科長補佐、医局長
2022年4月	同 講師

主な著書

乳腺画像診断最前線（南山堂）（2013年）分担執筆、
乳癌診療アプリケーション
ノート国立がん研究セン
ター中央病院乳腺グループ
編集（南山堂）（2014年）
分担執筆、国立がん研究セ
ンターの乳癌手術書（南山
堂）（2016年）分担執筆、
TNBC Q & A（2023年）（医
学書院）分担執筆

講演の
ポイント

PostPet™

- ① 乳がんの標準治療とは
- ② 乳がんと診断されたときの情報収集の仕方
- ③ 乳がんの治療と生活、仕事の両立

乳がんは、女性の部位別罹患率1位であり、日本人女性9人に1人が罹患するといわれ身近な病気です。また、発症年齢は40代と60代の二峰性にピークがみられ、比較的若い働き盛りの年齢層に発症することが多いです。

乳がんの治療は、日々進歩しており、個別化が進んでいます。様々な研究が進み、標準治療も年々変化しております。それにより、乳がんの治療効果も大きく進歩しております。自身の病態に応じた適切な標準治療を行うことは重要です。

乳がんと診断され、不安の中、ご自身の病態を理解し、治療について理解するのは複雑化しております。それらを理解し、納得した治療を行うことはなかなか難しいものです。また、様々な情報があふれる現代で、正しく、自分に合った情報を選択し、納得した治療を行うことは大切なことです。医療者への相談やがん相談支援センターを活用していくことは、その助けになります。がんやその治療に関わる情報源としては、国立がん研究

センターが発信している、“がん情報サービス”や“患者さんの乳がん診療ガイドライン”を入口とすることをおすすめします。

また、治療を行いながら生活や仕事を両立していくことは、患者さん自身にとって必要なことです。働き盛り世代が罹患する乳がんは、仕事との両立に悩まれる方は多いです。標準治療を完遂することは、乳がんの再発予防のためにとても重要です。様々な制度や職場との調整を行いながら、治療と仕事の両立を行う助けを得ることができません。国の政策として、第4期がん対策基本推進計画では、“がんとの共生”をできる社会の実現の一環として、就労支援の対策を押し出しています。がんの治療中であっても、ご自身にあった就業スタイルを職場とよく相談し、医療者とも情報提供という面で、連携しながら、がんの治療と仕事の両立を行っていくことが、今後はより円滑に行いやすくなることが期待されております。

・ ゲストトーク ・

乳がんが教えてくれたこと



ゲスト

小巻 亜矢 さん

株式会社サンリオエンターテイメント 代表取締役社長／
サンリオピューロランド館長

略歴

1983 年	株式会社サンリオ入社 結婚退社、出産などを経てサンリオ関連会社にて仕事復帰
2014 年	サンリオエンターテイメント顧問就任
2015 年	サンリオエンターテイメント取締役就任
2016 年	サンリオピューロランド館長就任
2019 年	6 月より現職

その他の役職

子宮頸がん予防啓発活動「ハロースマイル (HelloSmile)」委員長／NPO
法人ハロードリーム実行委員会代表理事 一般社団法人 SDGs プラット
フォーム代表理事／松竹株式会社取締役／富国生命保険相互会社取締役

株式会社サンリオエンターテイメント代表取締役社長、サンリオピューロランド館長の小巻亜矢さんは2007年に乳がんが見つかり左胸を摘出しました。自覚症状はなかったまま受診した検診で分かりました。その後、2010年には子宮内膜症なども分かり子宮を摘出しました。

今回は、乳がんを告知された時の気持ち、どのような治療経過を辿ったのか、治療中に周りの人の行動や言葉で嬉しかったことや支えになったこ

と、乳がんを経験して変わったことや学んだことや気付かれたことなどの他、ブレスト・アウェアネスの大切さについても語っていただきます。

また、経営者として社内でのがんに対する環境づくり（社員ひとりひとりと面談を行い検診受診についての話をすることなど）や、「HelloSmile（ハロースマイル）」という自身が行っている子宮頸がんの予防啓発プロジェクトの活動についてもお話しいたします。



聞き手

河野 美和 さん
フリーアナウンサー

プロフィール

九州福岡出身
TNC テレビ西日本時代にはプロ野球ソフトバンクホークスなどのスポーツ番組を7年担当インタビューは延べ2000人を超え、結婚後はキャリアカウンセラーとして全国の大学・高校にキャリア授業を展開。
その他に心理学エニアグラムファシリテーター、健康管理士一般指導員、留学カウンセラー、マナー講師の資格も持つ2017年乳がんが見つかり、信頼できる医師と家族、友人に助けられて、もうすぐ5年が経つ。



第14回

リリー・オンコロジー・オン・キャンパス

がんと生きる、わたしの物語。

絵画 × 写真 × 絵手紙 コンテスト

コンテスト作品募集

あなたの物語を表現してみませんか

コンテストは、技法や手法にとらわれることなく、
がんとともに生きる「想いを伝える」ことを重要にしています。

応募登録期間（当日消印有効）

2023年8月22日(火)～2024年1月31日(水)

リリー・オンコロジー・オン・キャンパス事務局

〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜2-2-28 堂島アクシスビル7階（東武トップツアーズ メディカルカンファレンスセンター大阪内）

☎ 0120-78-1307 10:00～17:30
平日（土日祝日除く）

✉ info-locj@tobutoptours.co.jp

🌐 www.locj.jp



主催：日本イーライリリー株式会社

後援：公益財団法人 日本対がん協会 / 厚生労働省 / 兵庫県 / 神戸市 / 大阪市

短期入院も、
長期入院も、
その前も

幅広保障の医療保険

ワイド・プロテクト

医療保険（有配当/2022）



富国生命保険相互会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-2

https://www.fukoku-life.co.jp

「ワイド・プロテクト」
について、詳しくはこちらから

フコク生命



NO KINOKO, NO DAYS.

大切な毎日を、大切な一日に

～カラダ整う、ココロ潤う～



PostPet™

MOMO 妹 PostPet™ © Sony Network Communications Inc.